

Previous Tio1608-D Firmware

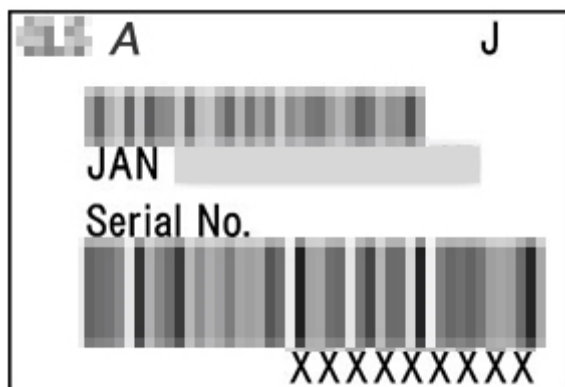
主なアップデート内容

V1.06

V1.06 の変更点

- Audinate 社提供の Dante モジュール Brooklyn3 に対応しました。Brooklyn3 搭載のハードウェアはシリアル番号ラベルの型番の横に"A"が刻印されており、V1.06 より前のバージョンにダウンロードはできません。使用している Dante モジュールは、Dante Controller でも確認できます。Dante モジュールごとの、使用しているオープンソースライセンスについては、Audinate 社のウェブサイト(英語)をご覧ください。

<https://www.audinate.com/legal/software-licensing>



V1.05 の新機能

- Dante Domain Manager (DDM)の SMPTE モード*(ST2110-30 clocking)に対応しました。このため DDM 登録中は Word Clock と Preferred Leader が変更できなくなります。
*DDM の SMPTE モードでは、ドメインは SMPTE ST2110-30 クロッキング用に構成され、Dante デバイスと非 Dante SMPTE デバイス間のオーディオの相互運用性を実現します。

V1.05 で修正された不具合

- Tio1608-D と DHCP サーバーを再起動したときに、ごくまれに他の TCP 通信に Dante モジュールが影響を与える不具合を解消しました。

既知の不具合

- 内蔵 Dante モジュールが Brooklyn3 の場合、16 チャンネル以上のマルチキャストフローをパッチするとノイズが出る場合があります。

V1.05

V1.05 の新機能

- Dante Domain Manager (DDM) の SMPTE モード*(ST2110-30 clocking)に対応しました。このため DDM 登録中は Word Clock と Preferred Leader が変更できなくなります。
*DDM の SMPTE モードでは、ドメインは SMPTE ST2110-30 クロッキング用に構成され、Dante デバイスと非 Dante SMPTE デバイス間のオーディオの相互運用性を実現します。

V1.05 で修正された不具合

- Tio1608-D と DHCP サーバーを再起動したときに、ごくまれに他の TCP 通信に Dante モジュールが影響を与える不具合を解消しました。

V1.04

- Dante Domain Manager (DDM)に対応しました。
- 最大 6 台のコンソール/R Remote からリモートコントロールできるようになりました。

V1.03-2

- Dante の最新ハードウェアにも対応するため、Dante ファームウェアを 3.10.32.2-4.0.35.1-1.3.4 にしました。Tio1608-D 本体のファームウェアは変更ありません。そのため、現在 V1.03 をご使用の場合はアップデートする必要はございません。バージョン互換については互換表をご確認ください。

V1.03

- リアパネルのディップスイッチ 5/6 (IP Address Mode)の設定が Manual のとき、Default Gateway の設定が正しく動作していなかった不具合を修正しました。

V1.02

- エラーによっては正しく表示されないことがある不具合を修正しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。

V1.01

新機能

- オーディオネットワークの相互接続規格「AES67」に対応しました。
- Dante Device Lock に対応しました。

改善点

- 本体ディップスイッチの設定と実際の Dante の設定が異なっている場合に、[SYSTEM]インジケータで表示するエラーステータスを追加しました。
- ディップスイッチ 2/3(IP Address Mode)を DHCP モードに設定した場合に、DHCP サーバーが見つかるまで IP アドレスが決定されないよう変更しました。DHCP サーバーがない環境で IP アドレスを自動設定したい場合は、Auto IP モードに設定してください。

不具合修正

- CL/QL/TF シリーズからリモートコントロールができなくなる可能性がある不具合を修正しました。